

科目名 Subject	美容デザイン論Ⅰ Theory of Beauty DesignⅠ			教員名	ヘアチーム	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	講義	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎		○			
科目の概要	本科目では、技術を施す際の作業姿勢や人体各部の名称、美容用具・薬剤の名称と取り扱いに関する基礎理論を学ぶ。同時に、美容デザイン実習Ⅰ・Ⅱで行う美容技術と関係づけ、技術的課題を発見できる思考力を養う。 美容技術は人体に施す手技であり、時には取り扱いに注意を要する薬剤や用具も使用し、外見の美をデザインしていく。人体に直接触れながら美容技術を行うという特性上、安全に配慮しながら正確な技術を施すことが必要になる。そのためには、美容に関する基礎知識や美容技術で使用する用具や薬剤の取り扱いを正しく理解することが重要である。 講義のみにとどまらず美容デザイン実習Ⅰ・Ⅱと関係づけた授業を展開していく。					
授業方法	授業は対面で行うが、状況次第でZOOMによる同時双方向(リアルタイム)のオンライン授業に切り替えることや、密の分散のため受講者を区切り、対面授業とオンライン授業を併用する可能性もある。					
授業の目標	美容技術を円滑に行うための作業姿勢や人体各部の名称、美容用具の名称を正しく答えることができる。 施術の事故を未然に防ぐために美容用具の適切な取り扱いや技術の方法および目的などの基礎的理論を美容デザイン実習Ⅰ・Ⅱを行う上で関係づけることができる。					
時間外学習 (予習・復習)	1回の授業につき予習(15分)としてテキスト美容技術理論Ⅰの指定した範囲に目を通し予備知識を得る。 1回の授業につき復習(45分)としてノートにまとめ作業を行い理解の度合いを確認し、次回につなげる。 項目の後半には演習問題を全問回答できるように繰り返し解く。					
教科書・教材	教科書	美容技術理論1・2、公益社団法人日本理容美容教育センター、2023年 教員作成資料及び演習問題プリント				
	教材	B5大学ノート(リングノート不可)				
	使用設備・備品	プロジェクター				
	参考文献	なし				
評価方法	定期試験(90%)の得点と提出物・理論ノート(10%)で評価する。 その他、授業態度について意欲的に参加しているかを評価して最大10点を加算する。 ただし、総合評価の最高点は100点とする					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法						
	定期試験の要点について、classroom内、もしくは美容デザイン論Ⅲにて解説を行います。					
履修上の注意	美容デザイン実習Ⅰ・Ⅱの内容と相互に理解をしながら受講する必要があります。遅刻・欠席は知識を習得する上で支障が出るため原則認めません。 資料の配布、授業連絡はclassroomを通じて行います。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第1回	オリエンテーション 序章：美容技術理論を学ぶにあたっての心構えや作業姿勢・美容技術に必要な人体各部の名称を学ぶ	正しい作業姿勢・美容技術に必要な人体各部の名称を述べるができる。	美容技術理論1) 序章の要点をノートにまとめる復習を45分と、次回学ぶ1章：美容用具について教科書の範囲を読む予習15分
第2回	1章：美容用具 美容の道具・器具・機械について学ぶ	美容技術に必要な用具類の名称や選定方法および手入れ法を述べるができる。	美容技術理論1) 1章：美容用具について要点をノートにまとめる復習45分と次回学ぶカッティング道具について教科書の範囲を読む予習15分
第3回	4章：ヘアカッティング① カッティング道具について学ぶ	シザーズの材質と構造、取り扱いの際の注意点を述べるができる。	美容技術理論1) 4章：ヘアカッティング道具の要点をノートにまとめる復習を45分と次回学ぶヘアカッティングの基礎について教科書の範囲を読む予習15分
第4回	4章：ヘアカッティング② 施術時の姿勢とブロッキングとスライスの重要性を学ぶ	ヘアカッティングの正しい姿勢とブロッキングとスライスの目的を述べるができる。	美容技術理論1) 4章：ヘアカッティングの基礎の要点をノートにまとめる復習40分と次回学ぶ6章2,3について予習10分とその関係する1章3,6～10の道具について復習10分
第5回	6章：アップスタイルに必要な道具や頭部名称、基礎理論を学ぶ	アップスタイルを行う際に必要な道具（ブラシやピン類など）の取り扱い方法を理解し、的確な技術基礎へ関係づけることができる。	美容技術理論1) 6章：アップの基礎理論について要点をノートにまとめる復習45分と次回学ぶアップスタイル技術理論資料と6章6～11の教科書を読む予習15分
第6回	6章：アップスタイルの技術の名称と技術理論を学ぶ	アップスタイルを行う際に必要な技術の種類や仕上がりの違い、目的を述べるができる。	美容技術理論1) 6章：アップスタイルの技術の要点をノートにまとめる復習45分と次回学ぶワインディングの基本についての資料を読む予習15分
第7回	5章：ワインディング① ワインディングの基本を学ぶ	ブロッキング、ベース、コーミングの目的と方法を述べるができる。	美容技術理論1) 5章：ワインディングの基本の要点をノートにまとめる復習45分とワインディングの巻き方資料を読む15分
第8回	5章：ワインディング② ワインディングの巻き方を学ぶ	コーミングの方向性とロッドの収まる角度について適切に述べるができる	美容技術理論1) ワインディングを巻く際の要点をノートにまとめる復習45分と次回学ぶワインディングの構成図をノートに書く予習15分
第9回	5章：ワインディング③ ワインディングの構成について学ぶ	ワインディングの構成の基礎を技術に関係づけることができる。	ワインディングの巻き方資料と予習で書いた構成図を使い、構成の基礎の要点をまとめる復習45分と次回学ぶヘアカッティングの基礎理論について教科書の範囲を読む予習15分
第10回	4章：ヘアカッティング③ カットの基礎理論を学ぶ	カットのスライスの種類、パネルと頭皮の角度、カットラインとの関係など基礎理論を述べることができる。	美容技術理論1) 4章ヘアカッティングの基礎理論についてノートにまとめることと演習問題の指定箇所を解く復習45分と次回学ぶベーシックなカット技法についての予習15分
第11回	4章：ヘアカッティング④ ベーシックなカット技法を学ぶ	基本的なカット技法の種類について述べるができる。	美容技術理論1) 4章：基本的なカット技法5章：パーマメントウェービングの理論と歴史のまとめ復習45分と次回学ぶ7章：ヘアカラーリングについて教科書の範囲を読む予習15分
第12回	7章：ヘアカラーリング① ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類、タイプ別特徴を学ぶ	ヘアカラーリング概論、各種カラー剤の種類や特徴の違いを述べることができる。	美容技術理論1) 7章：ヘアカラーリング概論と各種カラー剤の特徴をノートにまとめることと演習問題を解く復習45分と次回学ぶ染毛のメカニズムについて教科書の範囲を読む予習15分
第13回	7章：ヘアカラーリング② 染毛のメカニズムを学ぶ	染毛のメカニズム、毛髪のレベルとアンダートーンについて列挙することができる。	美容技術理論1) 7章：染毛のメカニズムについてノートにまとめることと演習問題を解く復習45分と各種ヘアカラーリングの技術理論について教科書の範囲を読む予習15分
第14回	7章：ヘアカラーリング③ パッチテスト、各種ヘアカラーリングの技術理論を学ぶ	パッチテストの必要性や染毛剤使用時の注意事項を述べるができる。	美容技術理論1) 7章：ヘアカラーリング施術の注意事項をノートにまとめる復習30分と演習問題を繰り返し解く30分
第15回	まとめと解説	今期に学んだ全章でデザインに必要な技術理論の知識が選択できる。技術理論の知識を活用して課題発見ができる。	美容技術理論1の教科書にて今期学んだ序章.1章.3章.4章.7章の苦手箇所の演習問題を繰り返し解く復習60分